

令和元年

雲南市議会6月定例会 一般質問通告一覧表

【一般質問日程 令和元年6月4日～6月6日】

令和元年雲南市議会 6 月定例会 一般質問通告一覧表 目次

順番	日程	議席番号／氏名	質問方式	ページ	順番	日程	議員番号／氏名	質問方式	ページ
1	6/4(火) 9時30分～	9／佐藤 隆司	一問一答	1～3	11	6/6(木) 9時30分～	4／中村 辰眞	一問一答	18～21
2		18／堀江 治之	一問一答	3～4	12		14／細田 実	一問一答	21
3	6/4(火) 13時00分～	8／細木 照子	一 括	4～6	13	6/6(木) 13時00分～	3／松林 孝之	一問一答	22～23
4		21／周藤 正志	一問一答	6～7					
5		6／矢壁 正弘	一問一答	7～10					
6	6/5(水) 9時30分～	20／深田 徳夫	一問一答	10～12					
7		2／中林 孝	一問一答	12～14					
8	6/5(水) 13時00分～	5／原 祐二	一問一答	14～15					
9		10／藤原 政文	一問一答	15～17					
10		1／上代 和美	一問一答	17～18					

令和元年雲南市議会 6 月定例会 一般質問通告一覧表

2019 年 05 月 29 日

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
1	9	佐藤 隆 司 (一問一答)	1. 統一地方選挙で の速水市長の政治 姿勢について	<p>(1)統一地方選挙の島根県知事選挙について</p> <p>①島根県知事選挙の結果をどう受け止めておられるのか所感を伺う。</p> <p>②松浦松江市長の街頭演説等での発言で「一部行き過ぎた発言」があったと報道されたが、その発言内容を承知しておられるのか伺う。</p> <p>③その発言をどう評価されているのか見解を伺う。</p> <p>④平成 31 年 2 月 22 日付けで「統一地方選挙における地方公務員の服務規律の確保」についての通知があったのか伺う。</p> <p>⑤あっていただければ、その通知内容を伺う。</p> <p>⑥速水市長と丸山新知事とで「しこりや問題」はないか伺う。</p> <p>(2)島根県議会議員選挙について</p> <p>①雲南・飯石選挙区の県議会議員選挙の結果をどう受け止めておられるのか所感を伺う。</p> <p>②44 年ぶりの保守分裂選挙となった島根県知事選挙により、県議会や自民党島根県連ではしこりが残っている。市長と雲南地域の 3 県議会議員とで「しこりや問題」はないか伺う。</p> <p>(3)市長の政治姿勢について</p> <p>①「国政とのつながりがないと支援や補助金が受けられなくなる」との発言をされていたと思うがどのような意味か説明を求める。</p> <p>②投票権は民主主義の原点であり、候補者支援も個人個人の判断でされるもの。市長の行動や言動がそれに影響を及ぼすような行為があったと言われる市民が何人もおられたと聞くが確認をする。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>2. 行政評価について</p> <p>3. スポーツ振興について</p>	<p>③今回の統一地方選挙で、特に知事選挙に対し市長は市民に対し限りなく中立の立場、不偏不党の選択肢もあったはずだ。今回の市長の県知事選挙に対する姿勢に市民の多くから（投票結果数差からも）違和感を持つとの声を聞いたが自らの行動判断について釈明される考えはないか伺う。</p> <p>(1)1996年（平成8年）三重県が全国の自治体に先駆けて事務事業評価を導入してから20年以上が経過している。多くの自治体で政策評価の仕組みを作る動きが広がり、本市も2007年平成19年度から本格導入し10年が経過した。</p> <p>①行政評価制度を導入した目的を伺う。</p> <p>②現状は、「やらされ感」や「負担感」業務量増加による「疲労感」や評価制度の「形骸化」「マンネリ化」が生じてはいないか伺う。</p> <p>③施策評価と事務事業評価が予算編成の基礎となっていると考えるが、PDC Aサイクルが活かされ施策と事務事業評価の機能が発揮され厳しい財政状況の中で最小の経費で最大の効果を挙げる行財政運営に連動しているのか伺う。</p> <p>④施策評価と事務事業評価の行政評価システムを見直しする必要はないのか伺う。</p> <p>(1)時機を得たスポーツ振興について 文部科学省ではスポーツ基本計画で「する」「見る」「ささえる」ことで「一億総スポーツ社会」を目指されている。このような状況下で本市も連動したスポーツ振興を図る必要がある。</p> <p>①スポーツの世界規模や国内規模での大会開催が目白押しで、スポーツに対する関心度や機運が盛り上がる中で本市としてどのように</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			4. 園芸振興について	<p>活力につなげ町づくりをされるのか具体策を問う。</p> <p>②現状の組織体制で十分な対応ができていますのか伺う。</p> <p>③国体開催誘致がされ、内々定で2029年の10年後に2巡目開催が決定している。このことは、島根県や県下各市町村の将来に向けた新たなまちづくり、地域づくりの起爆剤につながる。また、つなげなければならないと考えるが、現状で問題・課題が整理され今後の取り組みが検討されているのか伺う。</p> <p>④10年後を想定すれば、現在の小学生世代が最高のパフォーマンスを発揮する舞台となるが、どのようなロードマップを描こうとされているのか伺う。</p> <p>(1) 奥出雲産直振興推進協議会について会員数や販売額の現状と今後の課題を伺う。</p> <p>(2) 雲南市の野菜生産者について会員数や出荷実会員数、会員年代、販売額の現状と今後の課題を伺う。</p>	
2	18	堀江 治之 (一問一答)	1. 防災事業について	<p>(1) 防災計画について</p> <p>①最近の防災会議の開催状況について伺う。</p> <p>②平成18年度に雲南市地域防災計画が策定され、平成23年9月に改訂版が出されているが、その後の改訂は無いのか、あるとすればその概要について伺う。</p> <p>③防災ハンドブックが平成26年度に改訂されたが、その後の改訂はないのか伺う。</p> <p>④ハザードマップで指定されている指定避難所は何箇所あるのか。また、災害適用性の判定で地震・水害・土砂災害の適用性ありはそれぞれ何箇所あるのか伺う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>2. 働き方改革について</p> <p>3. 選挙の開票速報について</p>	<p>⑤災害時の指定避難所は地域の対象者を十分に収容できる状況にあるのか伺う。</p> <p>⑥避難所として神社仏閣・民間施設等と協定を結び指定避難所とすることができないのか伺う。</p> <p>(2) デジタル防災行政無線整備について</p> <p>①防災行政無線の設置に向け本年度委託費が計上されているが、委託内容と状況について伺う。</p> <p>②来年度、市内全域に防災行政無線の設置が計画されているが、旧三刀屋町で設置された防災無線との関連性と新設の施設整備概要について現時点での考えについて伺う。</p> <p>(1) 働き方改革関連法が本年4月から段階的に中小企業を対象に適用されることになっておりますが、年次有給休暇の年5日以上取得義務化に対し、市職員に対する対応方針と市内事業者に対しての周知の取り組み方針について伺う。</p> <p>(2) 時間外勤務の上限規制に対する取り組み方針について伺う。</p> <p>(1) 選挙の開票事務は、早くて正確さが求められるが、4月の統一地方選挙において、開票が遅いとの意見も聞いているが、開票事務の手順はどのようになっているのか伺う。</p> <p>(2) 多くの有権者が開票速報をケーブルテレビで情報を求められているが、開票現場とケーブルテレビ中継の連携はどの様に取り組みされていたのか伺う。</p>	
3	8	細木照子 (一括)	1. 道路の「路面標示」の整備について	(1) 以前にも取り上げたが、今も路面標示の薄れ・消失の改善が進んでいない。特に高齢運転者には危険極まりない状態だと思う。交通事故防止を叫ぶのなら、まずこれを整備するのが最優先である。	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>2. 公共施設の音響設備の「音質」向上について</p> <p>3. 高齢者の抜本的な安全運転対策が急務だ</p> <p>4. 健康寿命を延ばす社会参加の推進に力を入れられたい</p> <p>5. 過疎地域の医師不足について</p> <p>6. 中高年層の「ひきこもり支援」について</p>	<p>整備予算の云々の次元ではないと思うが、見解を伺う。</p> <p>(1)いま、市内各地区の会合は「地域交流センター」を中心にして、行われている。交流センターはじめ各公共施設の音響の音質が、大変に悪いと聞く。これも、若い方の耳なら聞き取れるかも知れないが、高齢者の耳では「こもった音」になってキチンと聞き取れない。早急に改善する考えはないか。</p> <p>(1)高齢者限定免許の導入は、結論を持ち越しになった。私は高齢者の「運転免許期間」が3年は長過ぎないかと感じている。70歳代は2年、80歳代は1年にするなどとの対策が必要と思う。せめて「認知機能検査」と「高齢者講習」だけでも、毎年行う必要があると思うが見解を伺う。</p> <p>(1)4月に県社協が開いた講演会で、長野県の専門家が「個人的趣味講座中心の活動」を「社会参加型活動」に転換して健康寿命を延ばす成果をあげていると話された。孤独感、孤立感を防ぐためには良い事だと思う。市の見解を伺う。</p> <p>(1)5年位前の数字だが、過疎地域の24%で医師が減っている。背景には、多くの医学部生が都市部の診療科を目指す傾向にあることだ。この事は、すぐに対応が出来る事ではない。過疎地域では、無医師村になる前に今から危機感を持って、対応を叫ぶべきではないか。</p> <p>(1)内閣府の調査で、従来の「ひきこもり支援」は若年層中心であったが、今回の調査で、中高年のひきこもりが推計61万人に上ることが分かった。この対応は急務だが、従来の対策ではカバーできないらしい。市としての認識を伺う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>7. プラスチックごみ問題について</p> <p>8. 人工知能(AI)社会の到来は本当に人類を幸せに出来るのか</p>	<p>(1)プラスチックごみ問題が世界中を賑わしている。日本は、1人当たりのプラスチック消費量が世界第2位である。それだけにプラスチックごみ処理は責任が大きい。マスコミの論調をみても、「焼却処理の増強」派や、一方では「温暖化防止上問題」派と分かれている。国民個人の心構えも問われる問題だとされているが、市の見解を伺う。</p> <p>(1)人間の何倍もの速さで事務処理などをこなす、便利この上もない人工知能だと言われる。しかし、専門家でさえも「不透明性」と「制御できなくなること」の危険性を指摘されている。人間性を大切にしたい、人間らしい社会の成熟を祈りたいが、市の見解を伺う。</p>	
4	21	周 藤 正 志 (一問一答)	<p>1. 公文書管理について</p> <p>2. 公的資金投入事業の現状について</p>	<p>(1)わが国の公文書管理は杜撰であると言われている。どのような職員教育、研修が行なわれているか。</p> <p>(2)本来、報告や決裁が行なわれる事柄が、担当者間のメールのやりとりで済ませているものがあるのではないか。</p> <p>(3)ペーパーレス化が進むと文書の隠ぺい(削除)や改ざんが危惧されないか。</p> <p>(4)市民からの相談や苦情などはどのように記録、共有、処理されているか。</p> <p>(1)オーベルジュ雲南へはいくら投入し、現状どうなっているか。</p> <p>(2)映画「たたら侍」へはいくら投入し、興行成果及び収支、事業の統括はどうかされたか。</p> <p>(3)映画「たたら侍」のロケセットへはいくら投入し、入込客や収支のほか現状はどうなっているか。</p> <p>(4)下布施のホースセラピー事業への投入と現在の利用状況はどう</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 幼児教育無償化への対応について 4. 教育の諸問題への対応について 5. 会計年度任用職員制度について	か。 (1)現在在籍している子ども 1,228 人のうち、793 人が無償化の対象だが、その保育料収入はいくらで、今後国が補てんしていくことになるのか。 (2)制度の趣旨から保護者負担が増えることがあってはならないが、食材費などどう対応するのか。 (3)子育て支援策について、他自治体とは違う独自性はどこなのか。 (1)平成 28 年度の発達障がい者支援法の改正を受け、どう特別支援教育を充実させてきたのか。また、問題点はないのか。 (2)「道徳の教科化」がスタートしたが、問題点はないのか。 (3)SNS やネットでは、ヘイトやフェイク、デマ等が溢れているがどのような「情報・コミュニケーション」教育がされているか。 (1)フルタイム勤務の職を短時間勤務へ置き換えたり、人数の大幅な削減があってはならないがどうか。 (2)全ての職で処遇改善が図られるか。	
5	6	矢 壁 正 弘 (一問一答)	1. 農林業について	(1)農業次世代人材投資事業について ①新規就農者の準備段階から経営を確立するまでの支援事業だが、令和元年度の国の予算は前年度に比較し 20 億円以上縮減されている。各自治体から異論が相次いでいるようだが、本市としての考えは。 ②本市の予算は継続 3 名のみへの 450 万円で昨年より減額となっている。新規就農者への対応をどのようにするのか見解を伺う。 ③同事業の成果として全国的に就農者数が増加傾向にあり、本市にとっても有効な事業だ。国に対して予算の確保を要望していく必要	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 交通安全対策について	<p>があると思われるが見解を伺う。</p> <p>(2) 森林環境譲与税について</p> <p>① 本年度より各自治体に交付される森林環境譲与税の配分額が、森林面積の多い林業地域より人口の多い大都市に優遇されると聞いた。本市としての考えは。</p> <p>② 同事業は、自然環境の変化や災害防止に森林が果たす役割が大きいとして導入される事業であり、源流域の森林整備が基本の事業であるとする。国に対し配分基準の見直し等要求する必要があると思われるが見解を伺う。</p> <p>(1) 道路整備について</p> <p>① 5月8日に滋賀県大津市で、散歩中で信号待ちをしていた保育園児の列に車が突っ込み2人の幼い命が犠牲となった。車道と歩道の境にガードレール等の強固な安全施設があれば防げた事故だ。本市の県道、市道ともほとんど境に安全施設が無い。設置すべきと思うが見解を伺う。</p> <p>② 特に、通学路途中にある交差点等に安全施設の設置が必要と思われるが見解を伺う。</p> <p>(2) 免許自主返納について</p> <p>① 近年、これまでも増して高齢者による事故が多発している。平成28年12月定例会で質した時には、免許自主返納は年平均80件との答弁だった。現在どのようになっているのか伺う。</p> <p>② 自主返納の促進を図るため支援事業拡充の考えはないか伺う。</p> <p>③ 自主返納に係る支援事業の内容の変更、例えば返納後の移動手段としての電動カーや電動アシスト自転車等の購入費の一部負担など</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>3. 災害対策について</p> <p>4. 水不足の対応について</p>	<p>考えられるが見解を伺う。</p> <p>(1)近年多発する自然災害の対応について、各自主組織ともに避難所の備品整備が課題となっている。本市として支援の考えはないか伺う。</p> <p>(2)災害に対応した災害対応型自販機や災害対策自販機がある。設置拡充の考えは。</p> <p>(3)島根原発災害時の本市の避難場所は広島県となっているが、避難路として主たる道路は国道54号線と高速道路尾道松江線だ。4月の積雪の際、大型車横転事故により尾道松江線は一日中通行止めとなった。避難路としては脆弱であると思われるが見解を伺う。</p> <p>(1)農業用水の対応について</p> <p>①昨年の暖冬で雪が少なかったため水不足が発生し、山間の圃場では代掻きができず稲の作付けを断念されたと聞いた。本市として把握されているのか伺う。</p> <p>②4月から5月にかけての降水量が少なかったため、田植えを終えた圃場でも水不足で地割れが発生している所がある。今後、稲への影響が心配され対応が必要と思われるが見解を伺う。</p> <p>(2)生活用水について</p> <p>①全国的に貯水ダムの水量についても減水が心配されている。本市も尾原ダムの貯水量が減少していると聞いた。夏場の上水道について不足が懸念されるが考えは。</p> <p>②生活環境上、以前に比べ使用する水量が増加している。今後、水不足が発生した場合どのような対応がされるのか見解を伺う。</p> <p>③上水道が整備されておらず、自家水を利用されている家庭への対</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				応は。	
6	20	深 田 徳 夫 (一問一答)	1. 道路改良について 2. 企業チャレンジ について	<p>(1) 無防備な幼児が交通事故に遭う痛ましい事故が続いており、雲南市もよそ事ではなく重く受け止め、通学路や交差点の再点検が必要ではないか。実施されたかまたは予定と対策を伺う。</p> <p>(2) 加茂町で一番事故の多かった市道立南線の南加茂交差点は、交差点の改良によって事故が皆無となった。これも住民が長年要望し続けてやっと改良していただいた。住民要望と執行部の執行権の乖離の典型的な例であるが、市内には改良要望は多くあると思うが、今後改良に向けての執行部の姿勢として住民とどう向き合うのか。</p> <p>(3) 例えば、加茂町宇治の中原橋のように、大型消防車・救急車などが侵入できない密集地の集落がある。市内にはこのような位置づけの改良箇所があるか。市道宇治中央線を含めて伺う。</p> <p>(4) 国道 54 号線山方地内の改良は、2 年に亘って中途半端な工事が続く状態である、新年度になっても進捗しない。国からどのような説明がなされていていつ完成予定か。</p> <p>(5) 国交省は、市の要望に応じて国道 54 号の柳橋南詰め交差点改良に取り組むと伺っているが、柳橋の改良はその後どう協議が進んでいるのか。計画の説明がなされないが交渉経過を伺う。</p> <p>(1) 社会課題を解決する「企業チャレンジ」をスタートさせたと施政方針で述べられた。雲南市が日本のチャレンジの最先端を走ることを目指すとされているが、具体的にはどのようなことが考えられるのか伺う。</p> <p>(2) 協定を結んだ 3 社の企業は、全て人材派遣か。また担う課題は企業ごとに違うのか。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 学校給食費の無償化について	<p>(3) 今回の協定は市の大きな目標の、企業誘致や移住定住、人口増加対策に繋がるのか。</p> <p>(4) 今後も「企業チャレンジ」は続くと思うが、具体的にはどのような課題に対して、今後企業派遣を求めていく考えか。</p> <p>(5) 12月議会でも、田園回帰の時代に入り、移住定住交流施策のネクストステージとして、「関係人口」を増やすことが重要と質問した。既に「地域の暮らしやすさ指標の貨幣価値」では、日本のトップ10に入っていることなど、移住促進を担当する方々が、移住促進戦略に活用されているのか。国が、向こう5年、地方と都市の「関係人口」を増やし、民間人材派遣による地方への新たな人の流れをつくることとし、東京一極集中是正の取り組みを打ち出している。市として先駆けて積極的な取り組みが必要と考えるが、その具体策など検討されているか。</p> <p>(1) 幼児教育の無償化が10月から始まる。国の基準から4割を市独自で軽減してきたので、市負担は現状より増えることはないとの見解であったが、確認したい。</p> <p>(2) 主食費・副食費は保護者負担となるが、市としては負担が出ない方向で検討するとされたが、その後の検討状況は。</p> <p>(3) これまで市単独で支援した財源を以って、給食費の市単独無料化の政策を打ち出してはどうか。</p> <p>(4) 雲南市の保護者負担は大きく、例えば小学校では年間50,000円弱である。社会増を目指すには、幼児教育の無償化に合わせて、大胆に子育て支援の給食費無償化の考えを検討されてはどうか。</p>	
			4. 住宅政策について	<p>(1) 市の住宅政策の基本理念は、「誰もが安心・安全・快適に暮らせる</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			て	<p>住宅・住環境づくり」として住宅マスタープランがある。住まい・住宅地づくりには、優良な住宅の普及と宅地の供給、公的賃貸住宅の計画的な更新と適切な管理などが記されている。これを上位計画として雲南市公営住宅等長寿命化計画は立てられたのか伺う。</p> <p>(2)市の公営住宅の団地別の設備状況を見ると、5団地で、3か所の給湯・浴室シャワー・浴槽の跨ぎやすさ・浴室手すり・便所手すり・階段手すりなどが未整備であり高齢者対策など全く配慮されていない。文化的な最低限度の生活ができる住環境と言えるか、また、マスタープランとの整合性の見解は。</p> <p>(3)平成28年度作成のマスタープランでは、計画倒れとなっており、今回の長寿命化計画では、令和6年から5年間の計画と大幅に先送りされた。上位計画を無視したものとなっているが何故か。</p> <p>(4)如何に人口を増やすことができるか、重要なことは個人住宅の優良な宅地の供給は最も必要な施策である。市がしっかり計画をたて、推進決定して開発公社等に委託すべきである。計画や対策はいつ示されるのか伺う。</p>	
7	2	中 林 孝 (一問一答)	1. 民意の合意形成 について	<p>(1)施策の推進にあたっては市民の意見や考え方を反映させることは不可欠である。民意を市政に反映させることについて基本的な考え方を伺う。</p> <p>(2)どのようにして民意の合意形成を行うか、どのようにしたら様々な民意を取り入れることができるか、また、施策への反映方法について伺う。</p> <p>(3)環境基本条例の制定にあたってパブリックコメントに付された。コメントは何件くらいあったか。また、どのような内容であったか。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. 公共交通網形成 計画について	<p>パブリックコメントは本条例にどのように反映されたか。</p> <p>(4) その他、様々な場面でパブリックコメントが利用されている。どのように民意が反映されているか。</p> <p>(5) パブリックコメント以外にどのような方法で民意の集約を図るか。</p> <p>(6) 住民投票とそれ以外の方法はどのような基準で区分されるか。</p> <p>(7) 島根原発は今後、重大な判断をしなければならない時期が来る。本市が判断するにあたってどのように民意の合意形成を進めるか。</p> <p>(1) 本市の公共交通網形成計画の策定にあたり、その進め方について伺う。</p> <p>(2) 公共交通網形成計画における木次線への基本的な考え方、位置づけについて伺う。併せて、トロッキ列車更新について交渉の進捗状況を伺う。</p> <p>(3) 運行日一日当たり平均利用人数が5人以下の市民バスの路線はどれくらいあるか。市民の利便性維持と運行経費について考え方を伺う。</p> <p>(4) 木次線と市民バス、デマンドタクシーなど様々な交通手段をどのようにリンクさせるか。</p> <p>(5) 加茂町に今春、24時間営業の小売施設がオープンした。また、間もなくコトリエットの飲食店もオープンする。自家用車など移動手段を持たない市民から市民バスやデマンドタクシーの立寄先、乗降場として追加してほしいという要望がある。どのように応えるか。</p> <p>(6) 高速バス（松江⇄広島）の本市内における停車便数は2本に1本の割合となっている。いつから、どのような経緯で停車便数が減便さ</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				<p>れたか。市民の利便性向上にどう応えるか。</p> <p>(7)公共交通網形成計画と他自治体、県、交通事業者、その他関係機関との連携等について伺う。</p>	
8	5	原 祐 二 (一問一答)	<p>1. 子育て支援について</p> <p>2. 環境対策について</p>	<p>(1)産前・産後ケアについて</p> <p>①本市における産前・産後ケア事業（デイ及びショート）の実態と市民ニーズをどう捉えているのかを問う。</p> <p>②産前・産後ケア事業の先進事例を踏まえた、地域課題解決プランの提案（おっちラボ運営の若手人材育成事業）との連携について問う。</p> <p>③今後の取り組み（産後ケアセンターの開設等）をどのように進めていくのかを問う。</p> <p>(2)子育て施設について</p> <p>①人口の社会増を目的とした施策（新規・拡充等）により、保育を必要とする世帯が移住を希望した場合、保育施設及び放課後児童クラブへの入所は年度中途でも可能なのか、町別の実態を問う。</p> <p>②人口の社会増と若者世帯の定住に向けた、今後の子育て施設の対策を問う。</p> <p>③子ども・子育て支援法の改正による人員確保や外国人（児童）の増加に対処するための人材育成など、子育て体制（人材）の強化策を問う。</p> <p>(3)子どもの貧困について</p> <p>①子ども貧困対策への取り組み状況と今後の支援や体制整備について問う。</p> <p>(1)空き家対策について</p> <p>①建物等の倒壊の危険や道路・河川など、公共物に影響を及ぼす可能</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>3. 障がい者雇用について</p> <p>4. 周辺部対策について</p>	<p>性がある空き家の実態（調査結果）について問う。</p> <p>②平成30年6月議会で答弁された、条例化、対策計画、対策協議会の進捗と本市の空き家対策を問う。</p> <p>(2) 農地等の景観対策について</p> <p>①グランドカバープランツ（被覆植物）を利用した、農地等の景観対策への評価と今後の取り組み方針（事業費の支援）について問う。</p> <p>②ラジコン草刈機の導入による、農地法面や道路等法面の景観対策への評価と今後の取り組み（市での機械購入、地域への購入助成）について問う。</p> <p>(1) 本市における官民の障がい者雇用の実態について問う。</p> <p>(2) 障がい者雇用に積極的に取り組んでいる市内企業の公開、周知、優遇制度や表彰などについて問う。</p> <p>(1) 周辺部では、冬季通勤が困難であるため、やむを得ず自宅を離れる若者等がいる。周辺部の定住対策として、冬期間に限定した市営住宅の提供や民間アパート家賃への助成を問う。</p> <p>(2) イノシシによる道路法面の崩壊が周辺部では深刻化している。落石による交通事故や水路の堆積（遮断）などへの対策を問う。</p>	
9	10	藤原政文 (一問一答)	1. 読書、図書館について	<p>(1) 市民の読書の状況をどのように捉えているか。乳幼児期および小中学校、高校生および成人それぞれの状況について伺う。</p> <p>(2) 読書をどのように評価し、指導しているか。乳幼児期および児童生徒、成人それぞれについて伺う。</p> <p>(3) 市内の図書館、学校図書の利用状況をどのように評価しているか伺う。</p> <p>(4) 読書および図書館利用の更なる促進のための今後の取り組み、展</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			2. まちづくりについて	<p>開について伺う。例えば、読書通帳を導入し動機付けをしてはどうか。</p> <p>(1)「連携中枢都市圏構想」とは何か。本市との関係およびこの構想に対する本市姿勢、所見を伺う。</p> <p>(2)今年度から始まった企業チャレンジ第1弾、「健康なコミュニティを支える事業創出」、「ラストワンマイルの移動課題解決のサポート」の具体的な取り組みについて伺う。</p> <p>(3)公共施設のトイレの環境は整備されているか。洋式化、便座の温度調整、手すり等バリアフリー、人にやさしい環境になっているか整備状況について伺う。</p> <p>(4)介護・育児の男女共同参画の状況を、どのように捉えているか。男の介護教室、男の育児教室の定期的な開催が必要ではないか。</p> <p>(5)周辺部からは、「これ以上、人口減少しないようにしてほしい。これは行政の責務だ。」との声がある。この声に対する市長の決意を伺う。</p> <p>(6)地域自主組織と農業について</p> <p>①本年3月定例会、会派「清風雲南」の代表質問の中で農業についての質問があった。それに対し、市長は、農事組合法人、担い手協議会を例に出しながら「市が目指す農業振興も共同体としての組織を維持、強化しながら取り組む農業をしっかりと支援していく。」「そうした農業が先進的なモデルとなるよう支援する。それが地域自主組織と連携した農業振興にもつながっていく。そうした担い手の広域化、雲南市の場合には、地域自主組織と一体となった農業振興、それが雲南市の地域振興にもそのままつながっていくものと確信している。」</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
				と答弁された。この答弁は、地域自主組織とそのような協議がなされ、地域自主組織も納得した上での答弁か。または、市長の思いなのか。それも含めこの答弁についてどういう趣旨か伺う。 ②地域自主組織が法人格を取得した場合、農業経営も含まれることになる。持続可能な経営を考えると、懸念される事項が多いが見解を伺う。	
10	1	上代和美 (一問一答)	1. 子育て支援について	(1)子ども医療費助成の拡充について丸山新知事の公約の中に、子ども医療費について「最低でも島根県すべての自治体で暮らす小学生までが負担する医療費を無料とします」と無料化拡大の公約がある。県の無料化の拡大が実現できれば、雲南市の負担分をさらなる子育て支援施策の財源として、高校卒業までの医療費無料化を実現すべきと考えるが、市長の見解を伺う。 (2)国保料の子どもの均等割軽減について3月議会で、モデル世帯での国保と協会けんぽとの保険料の比較を示し、ほぼ国保料が倍となることを提示した。全国市長会でも、子育て世帯の負担軽減を図るため、子どもに係る均等割保険料(税)を軽減する支援制度を創設することを国に提言されている。全国でも25自治体、県内では浜田市が、一部軽減を行っている。3月議会では「その考えはない」との答弁であったが、協会けんぽとの格差を考えれば、市も独自の支援をするべきではないか見解を伺う。 (3)学校給食費への補助について、教育費の負担軽減は家計を応援するとともに、貧困から子どもを守り、教育の機会を保障するなど子供の権利を守るうえでも大切である。学校給食費の負担補助は子育てしやすいまちとして選んでもらえる条件にもなる。子育て世代応援	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>2. 福島原発事故の教訓をいかすためにも原発ゼロを</p> <p>3. 自衛隊への若者名簿提出について</p>	<p>施策の1つとして実施すべきだと考えるが、見解を伺う。</p> <p>(1)福島原発事故から8年たつ。事故の教訓をいかすべきと思うが、その教訓とは何か市長の見解を伺う。</p> <p>(2)8年目の原発事故被災地を実際に視察し、被災者の声も聞かせてもらった。帰還者数、再会された小中学校の児童生徒数、解決しなければならない問題の複雑化など復興にはほど遠いと感じた。原発の過酷事故は多くの人々の人生を狂わせてしまう。そして先の見えない将来不安をみなさんがもっておられる。原発の稼働はあり得ない。原発ゼロの島根、日本をめざすべきではないかと考えるが、見解を伺う。</p> <p>(3)原発事故前は福島でも安全神話にどっぷりつかっていた。原子力規制庁は新規制基準をクリアしていることは言えても、100%の安全を担保するものではないと言っている。100%の安全はあり得ない。福島原発事故は他の発電所事故とは次元の違う危険をはらんでいることを物語っている。市民の安心安全を守らなければならない首長として原発稼働中止を、国・県・中電に求めるべきではないか、見解を伺う。</p> <p>(1)自衛隊の新規隊員募集に対して、若者の名簿提出を本市ではおこなっているのか。</p> <p>(2)安倍首相は若者の名簿提出に6割以上の自治体が拒否していることを理由に、9条改定が必要だとしている。徴兵制にも通ずるような、この動きを断念に追いこんで、9条を生かした平和外交へ切り替えるべきではないか、見解を伺う。</p>	
11	4	中村辰真	1. 塩害について	沿岸部の地域では、台風等のために塩害が発生し、農作物等に被害が	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
		(一問一答)	2. 市役所庁舎 1F ロビーでの救命措 置時の現場確保に ついて	<p>出ている。</p> <p>本市は海に面していないため、塩害とは無縁に思われるが、塩害に苦悩されている方々から毎年のように春先に相談をいただく。</p> <p>(1) 国道 54 号沿いの掛合町入間地区では、トタン屋根や外壁の耐久年数が一般的な年数と比較して、約半分ほどになっている。この原因は冬季に散布される凍結防止剤によるものと考えられるが見解を伺う。</p> <p>(2) 国道より低い位置に立地する建物での腐食が激しい。防止策としては国道に設置されている防音壁を延長することでかなり緩和が図れると考えるが見解を伺う。</p> <p>(3) 市民の財産を守ることは行政の責務と認識している。塩害に対する防止策を国交省へ強く要望することが大事と考えるが見解を伺う。</p> <p>先日、市役所庁舎 1F ロビーにおいて来庁された方が倒れられた事案が発生した。幸いに救急車到着まで、看護師資格を有する職員や保健師の迅速な対応により大事に至らなかった。</p> <p>(1) 応急手当をしている最中にも次々来庁者があった。来庁者は何事が起こっているのかと視線を向けていた。状況によっては衣服をはだけなければならない事もあるかもしれない。応急手当をする際に周りを囲うことで人目を気にせず対応ができると思う。簡易なもので自立するようなものが用意できないか伺う。</p> <p>(2) 迷惑行為者対応や救急対応などに対して、個々に対応を明確にすること、役割を明確にすることの必要性を感じた。適切な対応を示したマニュアルを作成するべきではないかと思うが見解を伺う。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			3. 脳脊髄液減少症 と起立性調節障害 について	<p>脳脊髄液減少症はスポーツ外傷等によりおこる。小児期の脳脊髄液減少症については早期発見に努めなければならない。学校で発生する事故においては教員が適切な対応が求められる。</p> <p>(1) 学校現場において脳脊髄液減少症についてはどのように理解されているのか伺う。</p> <p>(2) 最近の研究により、脳脊髄液減少症と起立性調節障害の間には深い因果関係がある事が分かりつつある。ともにめまいや頭痛といった共通する症状もあり学校へ行けない状況となる。これを「怠慢」と誤解し対応を誤れば、不登校につながる負のスパイラルに陥る。これを防ぐために教職員の理解をより深くする必要がある。理解促進に対する取り組みについて伺う。</p> <p>(3) 脳脊髄液減少症の専門医は全国で 10 名ほどである。早期対応するためには市立病院と専門医との連携が望まれる。連携体制の現状を伺う。</p> <p>(4) 脳脊髄液減少症の疑いがある患者がいた場合の相談フォーマットがある。島根県を含む全国 18 都道府県の各ホームページに相談フォーマットのバナーが貼られている。本市のホームページにバナーを張ることは学校だけでなくスポ少などの担当者にとっても有効と考えるが見解を伺う。</p>	
			4. AED の設置場所 について	<p>最近のスマートフォンのアプリには、AED の所在を示すものがあり、本市での設置場所もこれで確認できる。便利ではあるが設置場所が室内か屋外かといったことまではわからない。</p> <p>(1) 各学校の AED 設置台数を伺う。</p> <p>(2) 休校日にグラウンドをスポ少等で使用される学校には、屋外に AED</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>5. 三刀屋高校掛合分校における通級指導開始に関して</p> <p>6. 学校のエアコン稼働の光熱費について</p>	<p>が設置されているのか伺う。</p> <p>(1) 来年度より三刀屋高校掛合分校において通級指導が開始される。小中学校で通級指導を受けている児童生徒や特別支援学級に在籍する児童生徒に、進路を考える上でプラスになると考えるが見解を伺う。</p> <p>(2) 中学校の通級担当教員の担当範囲は雲南圏域の1市1町である。これに対し教員数は1名。毎年増員の要望を出しているが一向に増員されない。高校での通級指導開始に合わせ、市内の通級指導充実のために、増員が必要な時と考えるが見解を伺う。</p> <p>今現在、降雨が少なく、気温は5月24日時点で早くも30度を超える暑さの地域も出てきている。国の今年度当初予算に学校のエアコン稼働に対する光熱費として、69億円が交付税措置された。</p> <p>(1) 普通交付税措置となれば、エアコン稼働の光熱費分の取扱いが確実にできるのか心配をしている。光熱費が確実に確保でき、快適な学習環境が保証できるのか伺う。</p>	
12	14	細 田 実 (一問一答)	<p>1. 地方公務員法及び地方自治法改正と臨時・非常勤職員について</p> <p>2. 幼児教育と保育の無償化の法成立について</p>	<p>(1) 法改正を受けての取り組み状況を伺う。</p> <p>(2) 現在の臨時・非常勤職員の雇用実態と業務内容。</p> <p>(3) 臨時・非常勤職員として働いておられる方も 住民サービスの向上に欠かせない存在となっていると思うが市の認識はどうか。</p> <p>(4) 法改正の趣旨は臨時・非常勤職員の処遇改善だと認識しているがどのように取り組もうとしているのか。</p> <p>(1) 無償化の概要について。</p> <p>(2) 無償化に伴う雲南市の保育政策、市民・保護者への影響について。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
13	3	松 林 孝 之 (一問一答)	1. 経済振興策について 2. 教育行政について	<p>全国的な経済指標も若干の下降傾向が示された。好景気が叫ばれる中でも市内経済の状況は良い状況ではなかった。起爆剤としてきたプレミアム商品券事業は国の経済対策として展開される。</p> <p>(1) これまでのプレミアム商品券事業と違い、購入者が限定的になるが、市民、事業者、商工会に対し異なる点の説明が必要ではないか。</p> <p>(2) 雲南市商工会は新たな市内景気喚起策として「スタンプラリー」を展開する。まさに周辺部にまで経済効果の波及が期待できる事業と考えるが、所感を伺う。</p> <p>教育魅力化推進会議が設置され、高校魅力化が進められつつある。</p> <p>(1) 本年度の市内3高校の入学者数の市内・市外の内訳と近年の状況は。</p> <p>(2) 市内中学生に選ばれる高校づくりこそ魅力化の第一歩。政府の教育再生実行会議からは「高校普通科改革で多様性を促す必要がある」と提言があった。魅力化の重要ポイントとして研究し、高校改革に着手してはどうか。</p> <p>(3) 「学ぶこと」そのものを身に着けることが重要である。まずは市内児童生徒の学びに対する意識改革が必要と考える。「脱ゆとり」となった現在、「競争心と向上心」の醸成が求められる。それには学びの現場である学校に変化を求めることが第一歩と考える。教育改革のひとつと掲げ教員自身も競争心と向上心に励み、児童生徒に学ぶことの重要性を説き、学力向上を目的とした教育環境を創る「教員加配特区」という変化を持たせることは出来ないか。</p> <p>(4) 義務教育学校について研究会を立ち上げるとのことであったが、その後の検討状況は。</p>	

質問 順位	議席 番号	議員氏名 (質問方式)	項 目	要 旨	備 考
			<p>3. 住宅施策について</p> <p>4. 重要施策について</p>	<p>人の流れに大きな影響を及ぼす中心市街地活性化事業、企業団地がいよいよスタートする。人口の社会増の大きな柱である住宅施策は学校施設や商業集積地など、今後の人口分布を見通し、効率的に開発していかなければならない。</p> <p>(1)最近の宅地の販売状況とその購入者の市内・市外の割合は。</p> <p>(2)「売れる宅地」の造成こそ急務である。次なる候補地は検討されているのか。</p> <p>(3)新たな土地を求めるユーザーの多くは子育て世帯であることから、保育を含めた教育環境の整備は必須。庁内を横断的に網羅した施策展開として取り組むべきでは。</p> <p>消費税の増税に伴い、国から様々な分野に向けた「福祉の向上と経済の活性化」等の方針が示された。本市はこれまで子育て環境の充実や消費の喚起策、住宅施策において、自治体より先駆的に取り組んできた。しかし今後は全国的に導入されることとなり、本市だけが特化した施策ではなくなる。</p> <p>(1) 全国的な展開をどう捉えているか。</p> <p>(2) これまでと同様に「一歩先を行く雲南市」のスタンスで立ち向かうのか。</p> <p>(3) これからは何を目玉に、何を重点施策として掲げていくのか。</p>	